

〔M E P 水 和 剤〕

農林水産省登録 第 8 4 4 4 号

性 状 : 淡褐色水性和性粉末 63 μm以下

毒 性 : 普通物

危 険 物 : —

有効年限 : 4 年

包 装 : 500 g × 20 袋、1 kg × 20 袋

住化  
スミチオン® 水和剤 40

有効成分 : M E P (PRTR・1種)…………… 40.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になります。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	107-ℓ当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
りんご	モモシクイガ・ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ アブラムシ類・リンゴススムシ	800~1200倍	200~ 700 ℓ	30 日前	3 回
	カメムシ類・ギンモンハモグリガ	800~1000倍			
なし (有袋栽培)	シクイムシ類・アブラムシ類 クワコナカイガラムシ ハマキムシ類	800~1200倍		14 日前	6 回
	ナシチビガ・ナシキジラミ カメムシ類・ナシゲンバイ	800~1000倍			
なし (無袋栽培)	シクイムシ類・アブラムシ類 クワコナカイガラムシ ハマキムシ類	800~1200倍		21 日前	
	ナシチビガ・ナシキジラミ カメムシ類・ナシゲンバイ	800~1000倍			
もも	シクイムシ類・アブラムシ類 ハマキムシ類・モモハモグリガ	800~1200倍		3 日前	本 剤 : 6 回 M E P : 6 回 (樹幹処理は1回)
	カメムシ類				
大ぶ粒ど種う	ブドウトラカミキリ フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類成虫・ブドウスカシバ アカガネサルハムシ	800~1000倍		21 日前	本 剤 : 2 回 M E P : 4 回 (#1)
	クワコナカイガラムシ	800~1200倍			
小ぶ粒ど種う	ブドウトラカミキリ フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類成虫 ブドウスカシバ アカガネサルハムシ	800~1000倍		90 日前	
	クワコナカイガラムシ				
かき	カキノヘタムシガ フジコナカイガラムシ	800~1200倍	30 日前	本 剤 : 3 回 M E P : 3 回 (樹幹処理は2回)	
	オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫	800倍			
	カメムシ類・イラガ類 ドウガネブイブイ成虫	800~1000倍			
稲	ニカメイチュウ第一世代	40倍	3 ℓ 空中散布	21 日前	本 剤 : 2 回 M E P : 3 回 (#2)
おうとう	ケムシ類	800倍	200~ 700 ℓ	14 日前	本 剤 : 2 回 M E P : 2 回 (#3)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	107-ℓ当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
くり	クリタマバチ モモノゴマダラノメイガ	1000 倍	200～ 700 ℓ	裂果前 但し収穫 14日前まで	本剤：4回 M E P：4回 (#4)

- #1：収穫終了後から萌芽までは2回、萌芽後は2回  
 #2：種もみへの処理は1回、育苗箱散布は1回、本田では2回  
 #3：樹幹処理及び灌注処理は合計1回  
 #4：樹幹処理は1回

使用方法（稲以外）：散布

## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- アルカリ性の強い農薬との混用はさける。ただし、ボルドー液との混用の際は使用直前に混合する。
- 果樹のカメムシ類に使用する場合には、発生に応じて所定範囲内でくり返し散布する。
- ももの初期散布（5～6月）には薬害の出ることもあるので注意する。
- りんごの旭種及びその近縁種には、他の有機リン剤と同様に薬害の出ることがあるので注意する。
- あぶらな科作物には薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布する。
- なしの早生赤種には薬害が出るので使用はさける。
- くりを使用する場合、極早生種（森早生、豊多摩早生等）や樹勢の弱っている樹への散布及び萌芽中期の散布は薬害のおそれがあるのでさける。
- くりのクリタマバチの防除時期は羽化成虫脱出初期に樹全面に散布する。
- くりのモモノゴマダラノメイガの防除時期は産卵の初期、最盛期、末期に各1回、あるいは最盛期、末期に各1回散布する。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意する。
- 本剤を大型散布機（ヘリコプターなど）で使用する場合は、各散布機種種の散布基準に従って実施する。
- 空中散布の場合、さといも、ソルゴには薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
  - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
  - 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲、誤食などのないよう注意する。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されている。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスクなどを着用する。

作業後うがいをする。

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 空中散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－F も合わせてお読み下さい。

## 〔品目特性〕

- 有機リン系殺虫剤です。
- 作用機作はコリンエステラーゼの活性を阻害し、殺虫作用を示します。
- 害虫に対して接触効果、食毒効果があります。
- 植物に浸透性があります。